

新たな仮想空間プロジェクト「ReVers3:x (リバースクロス)」が始動！

ソニーグループの最先端技術とタッグを組み、全世界に向けXRライブ配信を開催

～3月3日（木）に開催される第1弾のアクトはKEIJUに決定～

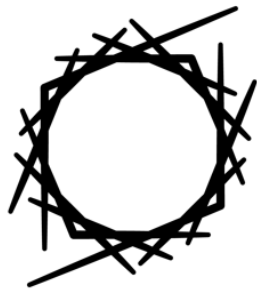


株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ（本社：東京都千代田区、代表取締役：辻野学 以下、SML）は、新たな仮想空間プロジェクト「ReVers3:x (リバースクロス)」を始動することをお知らせいたします。「ReVers3:x」は独自に制作した仮想空間を舞台に様々なアーティストのライブを楽しむことができるショートライブプロジェクトで、ソニーの最新技術を活用したグループ横断の取り組みとなります。

「ReVers3:x」の第1弾として、SML所属のKEIJUのライブが3月3日（木）22:00から配信されます。本ライブは、仮想空間上に作られた東京のストリートに設置されたステージから全世界に配信され、株式会社MomentTokyo（以下、MomentTokyo）/ REZ& / huezらの協力のもと独自に制作した仮想空間内には、先鋭の若手クリエイターを抱えるOFBYFOR TOKYOのデジタルアーティストによるアートも配置され、音楽のみならず、空間としても楽しめるコンテンツとなっています。発表に合わせ、「ReVers3:x」の世界を垣間見ることのできるティザー映像も公開となりました。

「ReVers3:x」ティザー映像：<https://youtu.be/LHL4Iasj0gw>

ライブの撮影は、世界最高品質のソニーのボリュメトリック撮影スタジオ「Volumetric Capture Studio Tokyo」にて実施。ボリュメトリックキャプチャ技術（※1）とソニーのカメラによる4K撮影に加え、Unreal Engineを活用した、MomentTokyoによる高いクリエイティブによる仮想空間の中、大型フェスでも活躍するVJチーム・REZの仮想空間内での照明・VJ演出によって、通常のバーチャル音楽ライブとは別次元の高精細な品質の実現に成功。ライブハウスからの配信中継などではない、ウェブ上だからこそできるライブ演出となっています。



Volumetric Production System

また、「ReVers3:x」のロゴは、Nicki Minaj、Flying Lotus のアルバムのジャケットをはじめ、Post Malone や Fetty Wap などのアートワークにも関わるなど、東京を拠点に国内外で活躍するグラフィックデザイナーの GUCCIMAZE 氏が制作しています。

「ReVers3:x」では 2022 年 3 月から 1st シーズンとして、今後も不定期に HIPHOP アーティストを中心とした XR ライブの配信を予定。様々なカルチャーの交差点として仮想空間上でのエンタテインメントを発信していきます。

※1:ボリュメトリックキャプチャ技術は、スタジオを取り囲む数十台のカメラで撮影した実在の人物や場所を、3 次元のデジタルデータに変換し、任意の方向から見た 3D 映像として高画質に再現できる技術です。実世界を丸ごと撮像し、本来カメラがない視点からの映像や、CG と合成した全く新しい映像表現が可能になります。

◆「ReVers3:x」第 1 弾開催概要◆

日程：2022 年 3 月 3 日（木） 22:00

配信プラットフォーム：「ReVers3:x」 Official YouTube Channel

「ReVers3:x」本編 URL：https://youtu.be/DboG74wW7_0

企画：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

協力：ソニーグループ株式会社 Volumetric Capture Studio Tokyo、OFBYFOR TOKYO

バーチャルライブ制作：株式会社 MomentTokyo、REZ&、huez

◆「ReVers3:x」公式サイト／公式 SNS 情報

公式サイト：<https://revers3x.net/>

YouTube：<https://www.youtube.com/channel/UCIhFxvd6YkutchugsFqpbzA>

Instagram：https://www.instagram.com/revers3_x/

Twitter：https://twitter.com/revers3_x

TikTok：https://www.tiktok.com/@revers3_x

Facebook：<https://www.facebook.com/revers3x>

【ReVers3:x Introduction】

20XX 年、いつか来るかもしれない不都合な未来。

鮮やかに再生される先人の言葉に、今日もまたこの街が呼応する。

Lost Lyrics Diggin'.

【プロフィール】

KEIJU



東京の街を生きる幼馴染からなるラッパー、トラック・メイカー、DJ、映像ディレクターら総勢 16 名を擁する HIP HOP クルー・KANDYTOWN のメンバーであり、音楽以外のフィールドでも注目を集める同クルーの中でも、フォトジェニックなルックス、メロウネスを感じさせるヴォイスを含め、強く個性を感じさせるラッパー。2017 年には、tofubeats「LONELY NIGHTS feat.YOUNG JUJU」、Awitch「Remember feat.YOUNG JUJU」、清水翔太「Drippin' feat.IO & YOUNG JUJU」などジャパニーズ・ヒップホップ・シーンの客演王と言ってももはや過言ではない程のめざましい活躍を見せる。

グループからのソロとしては初となるメジャー・ディールを SML と締結し、アーティスト名を KEIJU へと改名し、2018 年、SML 内から 1st 配信シングル「Let Me Know」を発表。2019 年 4 月、資生堂「アネッサ」CM ソングとして、小袋成彬のプロデュースの下、シンガーの RIRI とコラボレーションした「Summertime」を配信リリース。アジア各国での CM オンエアをきっかけに、国内のみにとどまらず、9 月には、本楽曲を Remix した台湾のシンガー・Julia Wu らとともに台北での初パフォーマンスを行なう。2020 年 7 月、メジャー 1st アルバム「T.A.T.O.」をリリース。Apple Music ではアルバム総合チャートで最高 4 位を記録。

REZ&

国内最大のクラブ“ageHa”で 2012 年の「ageHa 10th ANNIVERSARY “WONDERLAND”」から「ageHa THE GRAND FINAL」まで数多くのパーティーにレジデントの VJ として携わる。また VJ のみならず映像と照明をリンクさせた演出システム構成や映像ディレクションを手掛けている。「ULTRA JAPAN」、「EDC JAPAN」、「SUMMER SONIC」、「SONIC MANIA」、「electroX」などのミュージックフェスティバルで活躍。

huez

2011 年に活動を開始し、今年活動 10 周年を迎えるユニット。「水曜日のカンパネラ日本武道館公演 ～八角宇宙～」 「tofubeats『RUN』リリースパーティ」といったイベントで空間演出を手掛けた実績を持つほか、近年ではオンラインライブや XR（クロスリアリティ）などのバーチャル空間での演出開発にも注力しており、「KizunaAI 5th Anniversary」、「MIKU EXPO 2021 Online」などの空間演出を手掛ける。

GUCCIMAZE

東京を拠点に活動するグラフィックデザイナー。鋭さと硬質さを感じる立体的なフォルムのタイポグラフィ、鮮やかでありながら毒々しさが漂う配色といった、独自のスタイルでグラフィック作品を制作。2018 年から独立し、国内外数々のアーティストやブランドとコラボレーションを展開する。主な作品に、Fetty Wap、Post Malone や Flying Lotus といった著名のアーティストへのグラフィック提供、US ラッパーの Nicki Minaj のアルバムのジャケット制作、また Calvin Klein、SEIKO、Crocs などグローバル企業とのコラボレーションを実現。

2020 年 東京・渋谷 "Diesel Art Gallery"にて個展「MAZE」、2021 年には河村康輔、Yoshirotten と共に "Gallery Tsukigime" にてグループ展示「CHAOS LAYER」を開催する。

【株式会社 MomentTokyo 概要】

2015 年活動スタート。m-flo、MIYAVI、いきものがかりなどのアーティスト LIVE 映像や、「EDC JAPAN」「GREENROOM FESTIVAL」などの音楽フェスのアフタームービー。さらには海外 Porter Robinson などのフェスドキュメンタリーを中心に活動している実写撮影集団。

【OFBYFOR TOKYO 概要】

東京を中心に活動するデジタルクリエイティブレーベル。映像ディレクター・CG アーティスト・アートディレクター・プロデューサーなど多岐にわたるメンバーが所属しており、EMPORIO ARMANI、NIKE、DIESEL、H&M などのグローバルブランドのビジュアルだけでなく、ミュージックビデオ、アーティストビジュアルなども手掛けている。

【お問い合わせ先】

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 広報・CSR グループ

<https://www.sme.co.jp/contact/>